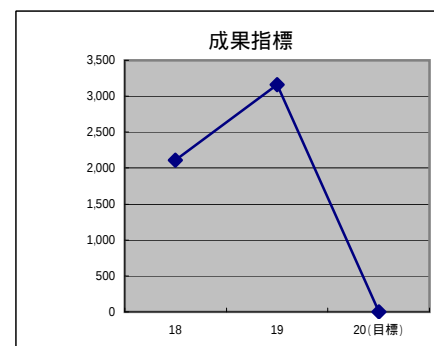
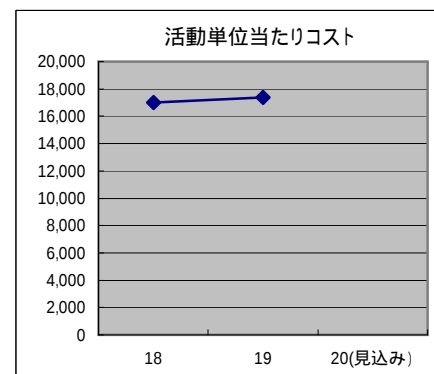


事務事業名		生活支援用具給付事業		予算科目	会計	1	一般会計
					款	3	民生費
					項	1	社会福祉費
					目	3	老人福祉費
					事業	1	老人福祉援護
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	2	健康で生き生きと暮らせるやさしいまち				
	施策(節)	3	高齢者福祉				
	施策の方向	(1)	地域包括ケアシステムの構築	作成部署 保健福祉部保険健康室高年介護課			
関連する計画等				羽曳野市高年者いきいき計画		連絡先 072 - 958 - 1111 内線 1391	
事業の目的	対象(誰を・何を)						
	おおむね 65 歳以上で在宅の市民。						
	意図(どういう状態にしたいのか)						
	在宅生活を継続していく上で必要な用具を給付することにより、日常生活の便宜を図る。						
事業の内容	高年者が在宅生活を維持していく上で、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、高年者の心身の状況・希望及びそのおかれている環境を踏まえた適切な用具の選定の援助・取付・調整等を行い、用具の給付により高年者の日常生活の便宜を図り、高年者を介護する者の負担の軽減を図る。						
根拠法令等		羽曳野市在宅高年者生活支援用具給付事業実施要綱					
事業開始時期		☐ 昭和 ☒ 平成 12 年 月開始 ☐ 明確にはわからない				終了年度	平成 年度
事業開始時からの状況変化		介護保険制度における福祉用具事業との整合性が求められる					
市民や議会の要望							
実施手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先		☐ 外郭団体委託	名称	委託内容			
		☐ 民間委託					

区 分		18年度	19年度	20年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		2,110	3,163	0
人件費【2】 (千円)		882	942	0
職員数	正規職員	0.08 人	0.08 人	0.00 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.05 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.05 人	0.15 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		2,992	4,105	0
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	2,992	4,105	0
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		18年度	19年度	20年度(目標)
給付した用具で支援した件数 件		176	236	0
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】)		17,000 円	17,394 円	円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		25 円	34 円	0 円



成果指標	指標名		指標設定の考え方		平成18年度	平成19年度	平成20年度
	生活支援用具給付事業 (式)	事業費	目標	実績	2,502	3,259	達成率(%)
					2,110	3,163	97.1%
	生活支援用具給付事業 (式)	適正な給付	目標	実績	176	236	達成率(%)
					176	236	100.0%

担当 部局 評価	総合評価
	☐ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☒ 廃止・休止 ☐ 完了
	評価の理由
	日常生活機能レベル、身体状況およびアセスメント等もなく、対象者区分（要介護認定非該当）のみで杖等の生活支援用具を市が申請に基づき細かな審査もなく給付することについての課題は大きい。
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)

介護保険法第44条および第56条に基づいた用具購入費等の支給の制度に移行するため事業を平成19年度をもって廃止する。